

Saidaiji JC Report

第一回西大寺JC 親睦ゴルフコンペ



10月23日(日)前夜の激しい雷雨が嘘のようなゴルフ日和(暑くない曇り空)の中、備前クリスタルリンクスGCにて西大寺JC親睦ゴルフコンペが盛大に開催できましたことをご報告申し上げます。西大寺JCじゃがいもクラブを開催しなくなり十数年が経ちましたが、今年春先に昨年の創立50周年にご参集いただきました野口信一先輩をはじめ数名の諸先輩方より、このコンペ開催のご希望があり準備の運びとなりました。

組合せでは気にしていませんでしたが、当日の参加者24名の年齢を確認すると年齢差がなんとビックリの50才!!86歳になれる野口先輩の年齢を感じさせないプレイにも驚きですが、年の差関係なく和気藹々と一日を楽しめるのもJCだからこそだと感じております。

カップの横を通り過ぎるボールに大笑いし、息子以上離れた後輩のボールを坂の上まで探してもらったり、一緒に昼を食べ、はだかで風呂に入りと・・・『JCのゴルフってほんとにいいなあ』(和風総本家風に)とつくづく感じたしだいです。

全員のスコアはともかく、1位に水野君・2位に大森實先輩・3位に大原先輩と、その他飛び賞にも5名の現役は入賞することなく今回はOBに花を持たせていただいた結果となりました。もしや相当の気を使われたのかと、こちらが心配するほどで、是非次回開催では現役チームに頑張っていたきたいと願っております。

最後になりましたがコンペ開催にあたり、多くの諸先輩方にご参加いただきましたことに御礼申し上げますとともに、当日の不行き届きの数々はJCの友情に免じてご容赦いただき、また色々とお手伝いご配慮下さいました現役の皆様へ感謝申し上げます。

できれば来春にも第2回を開催し、年2回を目標に準備をしていこうと思っておりますので、若い現役の皆さんには少々苦痛とを感じるかもしれませんが何卒宜しくお願いいたします。

第1回西大寺JC親睦ゴルフコンペ 幹事 岸 彰徳・山名宏典・松本和生



9月例会



9月14日に9月例会を味恒で開催されました。今回はいつも使用している会場が急遽、使用出来なくなり会場を変えての開催となりました。いつもと違う場所での例会という事もあり、最初はメンバー全員、緊張感を持ちながら委員会報告等をされていましたが、だんだんいつもの和やかなムードになって行き、どのような場所で開催しても、今のメンバーなら対応してくれると勝手ながら、ありがたく思った例会でした。

委員会アワーについては、会員研修の一環としてSRC(スピーチ・リポート・コメントの略)方式で1分間ずつ話して頂きました。以前、ブロックの新会員研修会で行われて、西大寺JCでも2007年に一度、例会で行われましたが、スピーチ担当の話した内容をリポート担当が一言も間違わないように内容を繰り返すことで人の話す内容を記憶また理解する力を向上させることが出来、またコメントもスピーチとリポートの話す内容を記憶して差異を見つけて発表することで、理解力を高める事ができるのがこのSRCであると思うので、今年度委員会アワーとして取り入れさせていただきました。実際にメンバー全員、実践して頂いてみて、特にリポートに関しては、スピーチの内容の途中が抜けて、完全に記憶する事が如何に難しいかを感じて頂いた事と思います。今後も是非、開催して頂きたいと思いました。

岡山ブロックじゃがいも大会実行委員会 塩崎 鉄司



10月例会



10月12日に10月例会が行われました。10月例会は、地域連携委員会が担当させて頂きました。本年度も残り3回という終盤に差し掛かった例会で、設営にも力が入りました。

当日は、オブザーバー1名の方にも出席して頂き、西大寺青年会議所の例会を見て頂きました。

委員会アワーでは、講師に慈眼院住職 長井秀誠氏をお招きし、「大震災とこころ」と題しご講演いただきました。こんにち忘れられがちな人を敬うという心について再度考えさせられ、自分の私利私欲のためではなく、人のために何かが出来ればと思いました。震災という人の力ではどうする事も出来ない事態に直面したときに自分なら何が出来るか、本当の人の優しさとは何かということを考えさせられました。考え感じたことを今後の西大寺青年会議所での運動に活かしていきたいと思えます。

講師の長井住職には、改めて心より御礼申し上げます。

地域連携委員会 福江 寿史

一般社団法人移行に関する流れ及び現状

「一般社団法人移行に関する流れ及び現状」

皆様ご存知でしょうか。西大寺青年会議所の歴史は昨年50年周年を迎えた事は言うまでもありませんが“社団法人”としての歴史はそれから10年後の昭和46年12月10日に法人格を取得してからの事になります。40年間、法人の法律は大きく改正される事もなく、社団法人である事が当たり前として感じる私たちから、「公益法人とは何ぞや」と深く追求する事ありませんでした。しかし、この度の公益法人制度改正により、2013年11月末日迄に公益社団法人か、一般社団法人への移行を迫られる中、メンバー各々が公益法人のあり方、その問題について深く考えさせられる良い転機が訪れました。

5月には司法書士の先生をお招きし、新公益法人制度に関する研修会を行い、公益社団・一般社団に関する制度を研究しました。6月例会の委員会アワーに於いては公益社団法人と一般社団法人、どちらを取得すべきかをディベート形式で討論し合い、メンバー全員がその内容を深く追求できた事は記憶に新しいように思います。

この法人格移行についての運営は、単に総務委員会として事務的な作業を行い、労力だけを使って終わらせるのではなく、それをする事でメンバー各々が意味や価値を見出せる事業にしていかなければならないと考えております。現在も続く移行に関する運営は、私たちに素晴らしい気づきを得る事のできる最高のチャンスではないでしょうか。

さて、移行に関する事ですが、こうした流れを経て精査した結果、私たちは一般社団法人移行への道を選ぶ事にしました。公益社団法人は50%以上の公益目的事業をする事、遊休財産の制限、収入制限、行政庁の監督等、厳しく条件が設けられており、条件が満たされなければ法人取り消しのリスクがあります。それに対し一般社団法人は、収益事業さえしなければ、公益社団法人同様に税制優遇も受ける事ができ、運営上リスクは殆どありません。ただ、公益社団法人には、一般社団法人よりもイメージ性に優れている事は勿論、寄付をした場合に損金計上できる制度や、収益事業を行ったとしても公益目的に支出すれば税制優遇を受けられる事ができる、みなし寄付金制度等の多くのメリットがあります。将来的にはこういった部分を最大限に活かし運動ができるよう、公益社団法人への移行も視野にいれておかなければなりません。

一般社団法人への移行に関する心構えとしては、“公益社団法人を取得していく為の準備期間”として捉えておくのが妥当でしょう。尚、現在の進捗状況として、移行の完了は2012年夏季頃となる予定です。今後も皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

<移行進捗状況>

- ① 公益目的財産額の算出 (終了)
- ② 実施事業の整理 (終了)
- ③ 損益ベース計算書作成 (作成中)
- ④ 公益目的支出計画概要の作成 (終了)
- ⑤ 定款作成案 (終了)
- ⑥ 総会の意思決定 (終了)
- ⑦ 電子申請の実行 (実行中※県確認中)
- ⑧ 審議会への諮問の起案及び知事決済 (未)
- ⑨ 移行の登記完了 (未 ※2012年夏季予定)

総務委員会 坪井綾広

岡山盲ろう者友の会への支援 フリーマーケット



9月24日(土)に盲ろう者友の会への支援(バザー) in 岡山ドームに行ってきました。当日はドーム内では他の団体の方や一般の人達のブース参加も多数あり、いろいろな物が販売されていて大変盛り上がっていました。外には屋台、消防車なども来ていて、子供から大人まで楽しめていました。肝心の盲ろう者友の会さんのブースはというと、開始当初からずっとお客さんが絶えず、大繁盛でした。JCメンバーが持参したバザー用品も次から次へと売れていました。

私たちが声出しや、段ボール看板を持ったりと、いろいろなお手伝いをさせていただきました。また盲ろう者の方に簡単な手話を教えてもらい、交流を深めることもできました。来年も引き続きお手伝いさせていただける予定となっています。その時には教えていただいた手話で挨拶を交わしたいです。今年以上のお手伝いができるようにがんばりたいと思います。大変貴重な体験をさせていただきました盲ろう者友の会の皆さま、ありがとうございました。また、当日参加されたメンバーの方、お疲れ様でした。

地域連携委員会 中西秀和

会員状況

全国 LOM 数 704 LOM

全国会員総数 38,113名

(平成23年10月1日現在)

うち女性会員数 2,192名

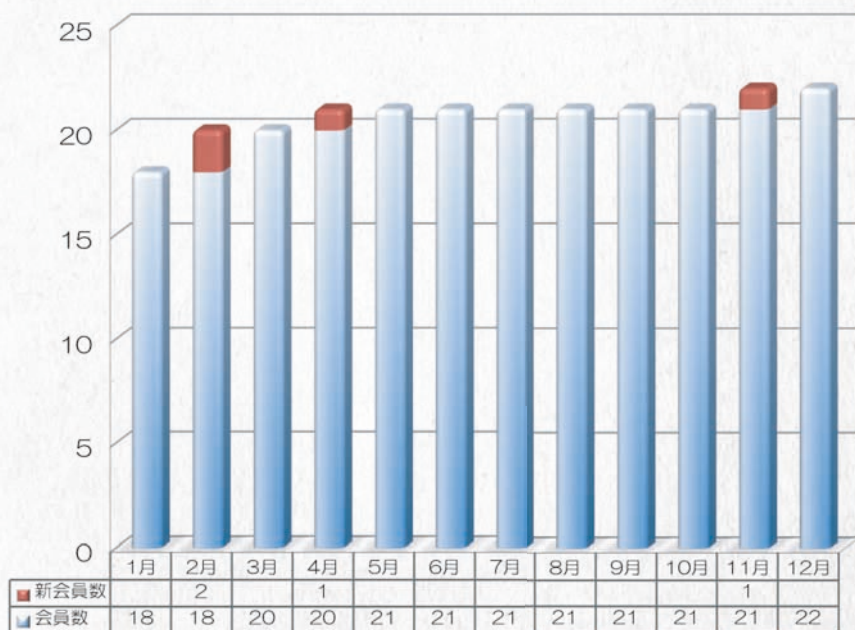
(平成23年10月1日現在)

西大寺 JC 会員数 21名

(平成23年10月1日現在)

うち女性会員数 0名

(平成23年10月1日現在)



2011年10月末現在

発行日 平成23年10月吉日
 発行責任者 井上 裕嗣
 発行責任者 三枝 克守
 編集責任者 長谷川 豪範
 発行所 社団法人西大寺青年会議所